

<大キャッチ>

**グローバルリーダーコースは、  
世界について学び、  
国際的な仕事に就きたい学生に  
門戸を開いています！**

参加者：原田 信志 学長  
島添 友歌さん 文学部  
森田 結衣さん 法学部  
東 沙莉衣さん 理学部  
水上 雄盛さん 工学部

熊本大学では、平成 29 (2017) 年度にグローバルリーダーコースが開設されました。本日は、グローバルリーダーコースの学生と原田学長の座談会を行います。

**大学全体をグローバル化**

**まずは原田学長、熊本大学のグローバル戦略についてお話をください。**

**原田:**この 10 年間、私たちは大学の国際化のために奮闘してきました。幸いなことに、平成 26 (2014) 年度に熊本大学はスーパーグローバル大学の一つとして採択され、以来、外国人学生の数や英語で行われる講義の数を増やしてまいりました。しかしそれらはとても狭い意味での国際化であり、本当の国際化とは、異文化や他国の人々、さまざまな考え方を理解するために大学の門戸を広く開けることだと考えています。今、熊本大学は、外国人をはじめマイノリティーを含むすべての人々に開かれています。また、グローバルリーダーコースは、世界につ

いて学び、将来、国際的な場所で働きたい学生たちに門戸を開いています。

**学生の皆さん、グローバルリーダーコースの一期生として、このコースの印象はいかがですか？**

**水上:**大学に入学する前、個性的な友人や海外の学生と過ごす時間がほしいと、強く思っていました。今は、先生たちが優しくてユーモアのセンスもあり、私の大学生活は想像していたよりもずっと面白いです。いろんな分野から、多様な学生が集まってきていて、彼らがそれぞれの専門分野を通して学んだことや考えをシェアできるのは、とても興味深いことです。

**東:**高校生の時、英語が大好きで、海外から来る人たちと交流したいと思っていました。この大学にはたくさんの外国人学生がいて、彼らと外国語で交流する機会をたくさん持てます。韓国語も大好きなので、熊本大学で、英語と韓国語のスキルアップができる。それは私にとって素晴らしいことです。

**森田:**同じく、高校生の時には外国人と話すことはできませんでした。でもここではたくさんの留学生がいて、彼らと簡単にコミュニケーションをとることができるので、考え方が変わりました。以前は、彼らの言葉や文化を理解できないと思っていましたが、今はできます。これが、このコースの良いところです。

**原田:**私たちは、グローバルリーダーコースだけでなく、この大学全体を国際化しようとしています。その目的は、日本人学生と外国人学生が一緒になって、お互いを高めあっていくことです。これは大学においてもっとも大切なこと。皆さんの意見を聞いて

いると、今、グローバルリーダーコースがうまくいっていると感ずますね。

**島添:**この大学に来てから、海外に行った経験がないのにうまく英語を話す学生が多いことに驚きました。日常生活で英語を使う環境は、もっと英語を勉強して、もっと英語を使おうと私に思わせてくれます。グローバルリーダーコースでは、英語を使う機会がたくさんあります。私は1日に2つの"Multidisciplinary Studies"科目の講義を、英語で受けています。授業で日本語を使うことはありません。この大学に来る前は、こんな生活をまったく考えていませんでした。これは珍しいことですよ。私は、グローバルリーダーコースの学生であることをとても嬉しいと思っています。

### 様々な国の人々との交流で、 幅広く国際的な考え方に

皆さん、外国人学生と話すことを楽しんでおられるようですね。熊本大学で何を勉強し、何をしたいと思っていますか？

**島添:**コミュニケーションと英語です。また、マスメディアについて勉強したいと思っています。世界の人々に日本の文化を伝える仕事に興味があるからです。

**森田:**私は英語、中国語、韓国語を勉強しています。所属は法学部なので、憲法や法律について学びたいです。語学力を上達させて、中国語、韓国語、英語のネイティブと交流したいです。

**東:**私は理学部なので、理学部の学生ともっと話がしたいです。将来は海外にも行きたいので、今は他の国について学ぶべきだと考えています。昨日、大学のカフェテリアで

タイの人たちとランチをし、彼らの故郷や教育について話しました。それらについてもっと知りたいと思います。もし海外に行けば、そういう知識はとても有益になるはずですよ。

**水上:**私は土木工学を専攻していて、いろいろな災害に興味を持っています。自然が原因の災害は日本だけでなく、発展途上国などでも発生しています。私はそんな国々に行くことにも興味を持っています。ここにはたくさんの外国人学生が来ていて、それは、他の国々について考え、日本の外に目を向け続けるいい機会だと思います。また、熊本大学には、インドネシア人やマレーシア人など、イスラム教徒の人がたくさんいます。彼らと交流することも、とても大切で興味深いことです。

**原田:**私もカイロにたくさんの友人がいて、彼ら全員がイスラム教徒です。イスラム教徒の人々は、食べ物に対してとても厳しい。アルコールは飲まないし、豚肉は食べません。カイロを訪れた時、友人たちが私と妻を夕食に招待してくれたのですが、私はそこで、たとえ自宅の夕食の席でも、女性たちが顔を覆っているのを知りました。彼らの文化はとても特別で、私は敬意を持っています。自分たちと違う人々の文化を学ぶことは、あなたたちの将来にとってとても大切ですよ。

**原田学長にお尋ねします。グローバルリーダーコースの学生さんが何を学ぶべきか？そして、彼らの学びが、将来に何をもたらしてくれると思われますか？**

**原田:**それに答えるには、私の経験をお話しするのがいいかと思います。私は、約50年前、熊本大学医学部に入った後、医学をと

ても一生懸命勉強しましたが、テニスをすることも楽しみました。皆さんは、「よく遊び、良く学べ」という言葉を知っていますか？ 大学では、一生懸命勉強することがとても大切です。私は外科医になりたかったのですが、大学院を卒業したあと、エイズの基礎研究をするためにアメリカに留学することを決心しました。この経験は、私にいろんな影響を与えました。当時の教授が、イギリスやフランス、ベルギーなど、さまざまな国から研究者を招いていたので、さまざまな国出身友人を多く得ることができました。これは私にとってとても良いことでした。アメリカにいる間に基礎研究をやることを決意し、臨床医の仕事を辞め、帰国してからは研究一筋となりました。今、私がやっていることすべては、それらの経験に基づいています。皆さんには、大学にいる間は一生懸命勉強すること、そしてもしチャンスがあれば留学することを勧めます。留学はとてもいいことですし、素晴らしい経験をもたらしてくれ、あなたの考え方をより幅広く国際的にしてくれます。それは特に若い人には大切なことです。グローバルリーダーコースにいる間はそんな環境に身を置いてほしいし、それが私が皆さんに望むことです。

**水上:**この夏、フィリピンに行きます。熊本大学の提携校であるマニラのアテネオ大学で1カ月、英語を勉強する予定です。

## 将来の仕事は、世界に広がる

皆さんは、将来どんな仕事がしたいですか？

**島添:**まだ決めていません。でも、世界の

人々に日本の文化を伝えられる仕事をしたいです。タイにいた時、タイの人々や他の国の人々と話す機会がありました。外国人と話すと、彼らはよく私の故郷や文化について質問してきます。私は、外国で私の生活や文化を分かち合うことがとても興味深いと気付きました。日本文化や日本の話をもっと多くの人々に伝えたいし、彼らに日本文化についてもっと知ってほしいと思います。自分自身の文化についてももっと学ぶつもりだし、他の国についても学びたいです。将来の仕事はまだ決めていませんが、美しい日本文化を伝える仕事をしたいと思っています。

**原田:**日本文化についても学ばないといけませんね。初めてアメリカに行った時、私の友人がこう言いました。「君がアメリカにいる間は、宗教と政治の話はするな。その二つはややこしいし、理解しづらいんだ。でも、ぜひ君の国の文化については話をしてくれ。それはとても興味深いし、君の会話をすてきなものにしてくれるよ」。ただ残念ながら、当時の私は日本文化についてはまったくにも知らなかった。それが問題でしたね。

**森田:**私も、まだ決めていません。ただ、グローバル企業の法律部門で働きたいなど。だから、法律、そして英語やほかの言語も勉強しないとダメです。私は日本と他の国々をつなぐ「懸け橋」になりたいんです。だから、まずは英語力、そして法律と他の言語力を上げないとダメだと考えています。

**原田:**国際法は、とても重要になってきています。というのは、私たちは海外に財産や会社を持っていますが、そこではいくつかの問題を抱えています。それらを解決するためには、国際法に対する知識はとても重要

です。たくさん勉強しないとイケませんね。

**東:**私は、バイオテクノロジーの研究者になりたいんです。理学専攻で、特にバイオメティクスと呼ばれるバイオテクノロジーに興味を持っています。生物は生きるためのさまざまな機能を持っています。それらの機能を使って、アフリカの人々を助けたいと思っています。アフリカでは、たくさんの人々が干ばつや戦争に苦しんでいます。バイオメティクスを使って、彼らを支援したいです。

**原田:**バイオテクノロジーは現在、とても競争が激しい業界です。やっぱり、一生懸命勉強しないとイケないですね。アフリカに行ったことはないでしょう？ 生活するのも仕事をするのも、とても興味深いところです。私は15年前、ガーナに行きました。同僚が病院を訪れるために、私をガーナの首都のはずれに連れていってくれた時、私はそこにあるすべての設備がとても古いことに驚きました。日本政府が支援して、とても高価な機械をその病院へ設置していたのですが、彼らはそれらを維持管理することができなかつたんです。すべての真新しい機械も、いったん壊れたら修理されないままそこにありました。お金の無駄遣いです。同じ状況がほかの場所でもありました。だから、アフリカの特異な状況をまず勉強する必要があります。そうでなければ、あなたの支援は助けにならない。

もう一つの例がエイズです。アフリカで流行しています。私がアフリカに行った時、WHO がワクチンの支援をしていました。エイズではなくてポリオワクチンです。ポリオワクチンがアフリカに供給されることは有意義なことだったので、ワクチン

を保管するための知識が人々になかった。冷凍庫の中で保管されるべきなのですが、アフリカに送られたワクチンは外に保管されており、高価なワクチンが熱によってほぼダメになっていました。支援の前に、教育が必要なんです。そうでなければ、あなたの助けはうまくいきません。

**水上:**私も、まだはっきりとは決めていません。ただ、NPO のようなところで働きたいと思っています。熊本で地震が発生した時、たくさんのNPO が熊本に来て、私たちの暮らしを支えてくれました。彼らの活動に感動しました。私は、私がしてもらったようなことで貢献したい。日本の外に出て、これまで見たことのない場所で働きたいです。

**原田:**どんな NPO 活動をしたいと思っているんですか。

**水上:**ボランティアのようなことです。NPO だけじゃなくて、ユニセフとかも。自分の専攻分野である社会環境工学で貢献したいとも思いますが、自分の将来を今の専攻分野だけに限っていません。

**原田:**でも、発展途上国は、工学技術を必要としていますよ。工学は国をつくるためにはとても大切なものですから。だから工学部の多くの教授が支援のために海外へ行っています。水も同じく問題です。

## **目標高く、夢を描いて**

**最後に、グローバルリーダーコース進学を考えている高校生にメッセージをお願いします。**

**水上:**すべては自分自身のやる気によると思います。結局は、自分次第。皆さんが入学して、一緒に勉強できることを待っています。

す。

**東:**英語力については、心配無用です。私の英語力もそれほどではなくて。でも、この大学では高校時代よりもずっとたくさん、英語で話すことができます。チャンスと経験できることがたくさんあります。だから...、とにかく来てください！ 私たちと一緒に、チャレンジしましょう！

**原田:**英語を話すことを怖がってはいけません。アメリカにいた時、その大学は世界中から学生を集めていました。日本人のほとんどが恥ずかしがり屋で、英語を話さない。日本語で話す時も同じです。練習が大事。私もブローケンイングリッシュを使っています。

**森田:**私が高校生だった時は、英語を話す自信がなく、私の英語力はアップしませんでした。今は、以前に比べて自信があると思っています。だから、皆さんにも自信を持ってほしい。あなたの英語は大丈夫です。

**島添:**グローバルリーダーコースでは、日常生活で英語を使う機会がたくさんあります。だから、大学生活を楽しめます。一緒に一歩ずつ、英語を練習しましょう。

**原田学長からも、学生の皆さんへの期待とメッセージをお願いします。**

**原田:**夢を描くことが大切です。将来何をしたいのか、それが大事です。そして、目標は高く設定してください。そうでなければ、自分自身を向上させることはできません。そして夢を実現させるためには、一生懸命勉強しなければいけません。私たちはできる限り皆さんのお手伝いをします。

(原田学長)

夢を実現させるためには、一生懸命勉強しなければなりません

(島添さん)

日常生活で英語を使う環境は、もっと英語を勉強したいと思わせる

(森田さん)

以前に比べて、英語を話すことに自信ができました！

(東さん)

バイオテクノロジーの研究者になって、アフリカの人々を支援したい

(水上さん)

他の国々について考え、世界に目を向ける良い機会

<キャプション>